

令和7年度 浜松工業高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年6月19日（木）午後1:45から3:45

2 場所 浜松工業高校 大会議室

3 参加者

役職	氏名	備考
会長	太田 一夫	元校長
副会長	大木 由美子	同窓会副会長
委員	吉澤 勝治	静岡大学教育学部 特員教授
委員	遠山 紗矢香	静岡大学情報学部 准教授
委員	中村 康弘	P T A会長
委員	大野木 龍太郎	初生町南自治会長（欠席）
委員	石津 貴代	元保護者
校 長	野崎 真司	
副校長	平井 光裕	
全日制 教頭	秋月 竜也	
定時制 教頭	鮎京 正憲	
事務長	夏目 清美	
教諭	佐々木 翼	全日制 教務主任
教諭	青木 誠	全日制 総務主任
教諭	稲葉 勉	全日制 生徒指導主事（欠席）
教諭	安田 有理	全日制 進路指導主事
教諭	大浴 智三	全日制 工業科長
教諭	佐原 康之	定時制 教務主任
教諭	内山 隆康	定時制 総務主任
教諭	木野 貴之	定時制 生徒指導主事（欠席）
教諭	蝶野 宏明	定時制 進路指導主事
教諭	馬淵 泰之	定時制 工業科長

4 内容 司会：副校長（協議の進行は会長）

(1) 学校運営協議会委員委嘱

(2) 校長挨拶

- ・学校評議員制度と学校運営協議会制度の比較
- ・SSHが13年目に入った。

(3) 自己紹介

(4) 校内見学

(5) 会長及び副会長の選出

会長に太田一夫委員、副会長に大木由美子委員 全会一致

(6) 学校運営協議会について

B：科学技術高校の国公立進学の実績が下がってきているが他の工業高校が補っている。特に浜松工業高校が静岡大学への進学数が昨年度 26 人、2 年前が 24 人、3 年前が 21 人なので年々増えてきている。学校経営計画書のとおり進めていって静岡県を引っ張ってほしい。

B：定時制に通う生徒は多様であるが通級指導の指導員は常駐なのか巡回なのか。

③巡回通級で週1回来てもらっている。本校教員もTTで入っている。

そこで指導員のスキルを吸収して普段の授業でも生かせるようにする。

Bそれを聞いて安心しました。巡回通級の場合、指導員は普段の生徒の様子が見れないので把握しきれない。教員がTTで入ることによって教員側の研修にもなっているが指導員側も生徒の情報共有ができるため、指導員は安心して指導ができるので有益な状態が築けると思う。

C：静岡大学情報学部に入った学生のその後の状況報告。

1、2年生でよくみられるのだが、ITソリューション室でパソコンがあまり得意でない主に普通高校から来た学生に対し、パソコンが得意な学生がパソコンの使い方を教えたり、相談を受けたりしており、その教える側の主たるメンバーに本校卒業生が携わっている。

また、3年生以降の専門的な学習の内容が多くなってくると成績が上がってきている。やはり普通高校から一般入試で入ってくるよりも総合型選抜で入ってくる浜工生徒のほうが、成績が良い。

C：女子生徒の進学率や進学先を教えてください。

④理工学部の進学は少ない。建築系や文系の大学へ進学している。

静岡大学工学部は1人進学している。

女子枠推薦を積極的に使うところまではしていない。

C女子生徒に来てもらうことに苦慮しているのでぜひ浜工の女子生徒から進学をさせてほしい。

D：本校の卒業生だが、先生の教育熱心さに感謝している。高校で学んだことが大学で活かされた。ただ、今の生徒はSSH、学校行事、部活動、勉強などとても忙しそうに見える。しかも先ほど見学したときに感じたが、だらけている生徒はおらず、みんな真剣に取り組んでいるので気を抜くタイミングはきちんとあるのかと心配になる。特に浜工は中心地から離れているので大半の生徒が自転車通学をしている。通学中に気が抜けて事故にならないか気がかりである。また、新校舎建築中であるため、学校内も工事中の箇所があるのでけがや事故が起きないかも心配している。

E：最近の卒業生の活躍を聞いて大変うれしく感じている。

昨年度の委員で自治会の方が自転車通学の様子について話をしていたが、今年度は大きな事故はありませんか。

①昨年度は自転車の事故が多かった。ヘルメットの着用率は増えているもののまだまだ少ない。

⑤4月当初はけっこう事故の報告が多かった。

①確かに4月は昨年と同じくらいの数だった印象があるが、最近はあまり聞かないので安心している。

ただ、登下校中のマナーの悪さで苦情のお電話を頂戴することはある。

9割に近い生徒が登下校中どこかで自転車を利用しているため、学校としては大きな課題だと思っているのでマナー向上において引き続き取り組んでいきたい。

⑥定時制の生徒はバイクで通っている生徒の事故が1件ある。

①現在、全定ともに生徒課長不在だが、本日西部地区で生徒課長が集まって報告や注意喚起の説明を受けていると思う。

A：これからの科学技術は英語力が重要だと思うが、英語力向上のために何か取り組んでいるか。

⑦オシロスコープや計測機器類は外国製が多く、パンフレットや説明書が英語になっているため、英語力が必要だということは機会があれば生徒に伝えている。

①SSHのプレゼンを英語でできるようになれば素敵なことですがここ1、2年は英語によるプレゼンはなかったのも、そういう生徒が出てくれるといいなと思っている。

パソコン甲子園モバイル部門等で上位に進出している子たちは英語力がそこそこあり、プログラムにも活かされている。

(11) 連絡事項